

適切な価格転嫁は必ず有ります。

服部新聞で以前大工さん等の職人さんのお給料を取り上げたことが有りました。以下が当時の小生の発言内容でした。

「大工さんは国民年金です。また一人親方が多く自動車から機械・備品に至って自分持ちです。従って毎月60万円相当（社会保険料及び税金と車等の維持費が毎月20万円かかります。差し引き40万円で家計をやりくりしなければなりません。）の稼ぎがなかったらやっていけません」と。しかしこの話はあまり認知されていない様に思います。

2022年に入り世界的なインフレに襲われていますが、インフレとは需給バランスの遍在から起こります。需給バランスが取れていないから、全ての物・サービス価格が上昇するのです。木材価格の高騰も、木材の需給バランスが崩れてきたから起こりました。しかし以下のことを考えて下さい。

日本全体の1年間の木材（パルプを含む）消費量（需要）は6,000万立方です。日本の植林木の1年間の成長量は1億立方有るのです。これは事実です。皆さんおかしく思いませんか。消費量が成長量より少ないのです。結論から言えば、価格高騰の原因は日本人に戦略がないことから始まった人災だと思えます。

林業従事者が最盛期の10分の1以下になっていることは事実ですが、何故こんなことになってしまったのでしょうか。ホワイトカラーの人材ばかり育ててブルーカラーの人材を育てて来なかったことに起因してきたからに違いないと思いますが、凄く違和感があります。森林育成生産には人手が必要です。また一定の人材を維持する為には見合った賃金が必要で、それに見合った人件費を払っていない為に起こったのが日本国内の木材高騰（ウッドショック）です。売り上げが上がらないから給料を上げられない。生産性が上がっていないから上げられない。色んな言い訳をして来たのが現実の日本だと思います。亡くなった安倍首相が行ってきた所謂積極財政政策が正しいか間違っているかを議論するのではなく、適切な価格転嫁を行い、適切にお給料を上げていないことが原因です。これからの日本人は付加価値の高い生き方をして、マーケットの貢献度に合わせたお給料にする以外に選択肢がないと言うことだと思います。

服部商店の社長として材木屋がしなければならないことを深掘しながら着実にマーケットから信頼される業者になる為に精進してまいります。政府も大阪府も大阪市も頑張っています。ウクライナ危機が何時終わるか解りませんが、必ず将来終わります。コビット19も必ず克服できます。世間が良くなった時服部商店もマーケットからより一層信頼される業者になっていることと、適切な価格転嫁は両立すると考えています。色々新しい事業展開も進めています。8月号以降で皆様にお知らせします。

マーケットから信頼される、新しい無垢材を扱うネットショップを発展させます。

電気代値上げについて疑問を持ちます。

小生は日本人が戦略性を持っていない民族であることを薄々感じている方が多いと思います。2020年に始まったコビット19は私達日本人に何を警告したのでしょうか。2011年に起こった東日本大震災は我々に何の警告を与えたのでしょうか。それは戦略を持った国家運営をすることだと思えます。

政治家の役割は大きな国家運営のビジョンを立て、政党同士でリベートすることです。そして官僚は政治家が描く大きな政策に予算を付けていくのが仕事だと思えます。

2020年2月から始まったコビット19の影響で日本全体の需要は限りなく減少方向に推移しましたが、コビット19が終れば正常化することは解っています。

電力不足の主な原因が何から影響を被ったのか解りませんが、経済安全保障と言うのなら、正々堂々発言（現実に原子力発電所を稼働させないと日本人が飯は食べられません）して頂きたいと思えます。どっちつかずの発言は国民を迷わすだけです。

新潟県にある世界最大の柏崎刈谷発電所は総発電量が820万キロワット有ります。日本全国の需要の20%位はカバーできる筈です。2011年以降色んな理由が有っても停止しているのは事実です。何時から稼働させるとは政治的発言はしにくいかも知れませんが、政治家は正々堂々発言して欲しいです。

集めました。

2020年から始まったコビット19（新型コロナウイルス）が齎した超物不足の影響で、材を集めるのが非常に困難な年であったと思えますが、何とか2023年以降に皆様にご購入頂ける材は確保出来たと思えます。

2020年3月以降は海外出張が全く出来なくなりました。2022年4月以降は、日本を除く先進国に出張は何とか可能になりましたが、広葉樹は11月から3月が伐採の最盛期ですから、事実上2シーズン仕入が困難になったのです。その間色んな方法（写真若しくは動画）で海外の材を検品する等の努力をしてきました。日本を除く先進国は2021年後半からコビット19からの影響に対していち早く対応をしてきたと聞いています。（今年に入ってから円安は日本だけが景気回復を成し遂げていない事実です。）

そのせいか解りませんがインフレが海外で進行しかけている所にまさかのロシアのウクライナ侵攻が勃発したのです。半導体から身の回りの全ての物が不足しています。

ところで木材の品不足は、半導体以上に簡単には回復はしません。理由は、木材資源が世界的に取り合いになっているからです。ウクライナの国の再建の為にも100兆円以上かかると言われています。この事業にも多くの世界中の木材資源が消費されるでしょう。

2023年以降も木材価格は高値安定の方向に向かわざるを得ないと思っています。

集荷 2020年10月1日～2021年7月31日

タモ	30.0677	シナ	10.961
ナラ	25.170	イタヤ	1.328
セン	13.944	ホオ	8.047
カツラ	3.579	クリ	8.555
キハダ	1.775	クルミ	4.944
シュリ	4.093	ブナ	5.495
ウエンジ	8.332	ウダイ	0.704
メジロ	0.750	サクラ	3.380

集荷 2021年10月1日～2022年6月30日

タモ	20.309	シナ	11.767
ナラ	25.293	イタヤ	0.875
セン	8.615	ホオ	2.993
ホワイトオーク	7.783	クリ	7.697
レッドオーク	11.531	クルミ	0.835
ウォールナット	11.634	ブナ	3.273
ブラックチェリー	20.095	マカバ	3.803
ハードメープル	5.353	サクラ	3.583

大阪木楽屋・事業譲渡お中元セール

2022年8月1日～8月31日

お得意先様向けのキャンペーン

毎週先着にて、30,000円以上（木材代金のみ・消費税・諸経費を除いて）御
買い上げの5名様に、アマゾンギフト券5,000円を差し上げます。

新規のお客様限定のキャンペーンを実施

50,000円（木材代金のみ・消費税・諸経費を除いて）以上お買い上げの全員
に、アマゾンギフト券10,000円を差し上げます。

